



国土建整第43号  
平成23年9月21日

(社) 全国建設業協会会長 殿

国土交通省土地・建設産業局  
建設市場整備課



### 建設資材・労働力需要実態調査の実施について（協力依頼）

平素は、国土交通行政の推進に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、国土交通省におきましては、建設資材・労働力需要実態調査を下記により実施することといたしました。

つきましては、調査の実施に際して、貴団体会員企業（事業所）の皆様への調査協力に関する周知等、格段のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. 調査名

建設資材・労働力需要実態調査（統計法に基づく一般統計調査）

#### 2. 調査の目的

本調査は、平成22年度内に着工された土木工事（電気設備工事、機械設備工事等を含む）の施工金額、使用資材量、労働者数等を集計し、請負金額あたりの資材量、就業者数（金額原単位）を算出することにより、主要建設資材の需要予測や建設労働需給調査等に活用し、建設資材及び労働力の需給の安定化対策の推進を図ることを目的とする。

#### 3. 調査の概要

平成22年度（H22.4.1～H23.3.31）に着工された請負契約額500万円以上の土木工事の中から、約5,000工事を抽出し、抽出した工事の請負者に「建設資材・労働力需要実態調査票」を郵送し、工事の請負契約額、工事に要した資材量、労働力等を記入いただいた後、回収し、集計することにより、原単位を算出する。

#### 4. 調査時期

調査票の配布 : 平成23年10月中旬

調査票の回収期限 : 平成23年11月25日（金）

※なお、調査結果については、平成24年6月頃公表する予定です。

#### 5. 調査担当部局

(担当部局) 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課 資材係 田崎

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

電話 03-5253-8111 (代) (内線: 24864)

(調査委託先) 株式会社アダムコミュニケーション 担当: 小俣、兵働

〒182-0002 東京都調布市仙川町1-15-47

電話 03-3305-5500 (代)

**平成23年度建設資材・労働力需要実態調査  
ご協力をお願い**平成23年10月  
国土交通省土地・建設産業局  
建設市場整備課

平素は、国土交通行政の推進に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、この度、国土交通省において、平成22年度内に着工された土木工事（電気設備工事、機械設備工事等を含む）を対象に、使用資材量、労働者数等を把握し、請負金額あたりの使用資材量、就業者数（金額原単位）を算出することを目的とした「建設資材・労働力需要実態調査」を実施することになり、平成22年度に着工された土木工事から無作為に選定した結果、調査票に記載された工事が本調査の対象工事に選定されました。  
つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、上記の趣旨をご理解のうえ、本調査に対し、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 調査実施機関（担当部局）

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課 資材係 田崎  
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3  
電話 03-5253-8111（代）（内線：24864）

## 2. 調査委託先（調査に関するお問い合わせ先）

株式会社アダムスコミュニケーション 担当：小俣、兵働  
〒182-0002 東京都調布市仙川町1-15-47  
電話 03-3305-5500（代） FAX 03-3307-7210  
E-mail: miltsurvey@aaa.co.jp

## 3. 調査票の返送先及び提出期限

## 【郵送にて提出する場合】

同封の返信用封筒にて、平成23年11月25日（金）までに  
国土交通省土地・建設産業局 建設市場整備課 資材係までご返信ください。

## 【電子メールにて提出する場合】

平成23年11月25日（金）までに、下記メールアドレスへご提出ください。  
E-mail: miltsurvey@aaa.co.jp

## 4. 記入要領等

- ・「平成23年度建設資材・労働力需要実態調査票」に従ってご記入ください。
- ・電子媒体（エクセル）でのご記入を希望される方は、下記のアドレスからダウンロードしてご使用ください。

## ◆調査票ダウンロード先（国土交通省ホームページ）

⇒ [http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1\\_6\\_bt\\_000216.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000216.html)  
平成23年度建設資材労働力需要実態調査（調査票ダウンロード）を  
クリックしてください。

※国土交通省ホームページのトップページから入る場合は、

- ⇒ 国土交通省トップページ (
- <http://www.mlit.go.jp/>
- )
- >> 土地・建設産業（画面上側「国土交通省の政策クイックリンク」の項目）
  - >> 建設産業・不動産関係（画面右側「基本情報」の項目）
  - >> 労働・資材対策（画面左側2段目の「建設市場整備」の項目）
  - >> 平成23年度建設資材労働力需要実態調査（調査票ダウンロード）

秘

## 建設資材・労働力需要実態調査票 【土木・その他部門】

※調査対象工事が未着工の場合は、表紙余白に「未着工」と朱書きの上、ご返送下さい。

### 1. 調査趣旨

この調査は、建設事業の円滑な実施を図るため、主要な建設資材及び労働力の工事費の1単位当たりに必要な資材量・労働力を把握することにより、建設事業に必要な資材量及び労働力の短期・長期の需要見通しと、これに基づく資材及び労働力の需給の安定化対策を推進するための基礎資料を得ることを目的として実施するものです。

### 2. 調査実施

この調査は、国土交通省が実施するものであり、株式会社アダムスコミュニケーションに調査を委託しております。この調査票に記入された内容は、上記の目的以外に使用することは決してありません。なお、調査対象の抽出は工事単位で行うため、1事業所に2通以上の調査票が送られることがあります。その際は、ご面倒でもそれぞれの調査票に記入して下さい。

### 3. 調査内容

- I. 工事内容調査 … 調査対象工事の請負契約金額、工期等
- II. 主要資材量調査 … 調査対象工事に使用した資材量
- III. 労働力調査 … 調査対象工事に従事した労働者の延べ人数

### 4. 調査対象工事

この調査票のタイトルは【土木・その他部門】となっていますが、公共工事の場合、「建築」以外のすべての公共工事を対象としていますので、電気設備工事、機械設備工事等も対象となります。

### 5. 調査票の提出期限・提出先・問い合わせ先・写しの保管

- (1) 記入済みの調査票は、同封の返信用封筒にて平成23年11月25日(金)までにご投函下さい。  
なお、提出先(返信用封筒に印刷してあります)は、下記のとおりです。  
〒100-8786 東京都千代田区霞が関2-1-3  
国土交通省土地・建設産業局 建設市場整備課 資材係
- (2) 調査についての問い合わせ先は、この調査票の6ページにありますので、ご参照下さい。
- (3) 電子媒体(エクセル)での記入を希望される方は、6ページに記載されたURLから調査票をダウンロードしてご使用下さい。
- (4) 後日、調査票の記入内容について問い合わせをさせていただく場合がありますので、記入済みの調査票の写しを保管しておいて下さい。

### 6. 調査票記入者名

この調査票を記入された方の所属、氏名等を記入して下さい。

事業所名				
事業所所在地				
所属部課名	部	氏名	電話	市外局番 (      )
	課			
メールアドレス				

※調査対象工事に該当する事業所名・事業所所在地と相違がございましたら、下記にご記入願います。  
訂正例) 事業所名: ○○建設(株) → ▲▲建設 ■■工事業所 (ここでの記載は対象工事に対する事業所名を記載願います。)

事業所名	
事業所在地	(〒      )

### I. 工事内容調査

今回、調査対象とさせていただきます。工事は、平成22年度に貴事業所が国土交通省へ提出した「建設工事受注動態統計調査票(甲)」から抽出した次の工事です。

工事件名					
発注者		受注動態統計調査票提出月		請負契約額	百万円

※請負契約額が設計変更等による増額分のみ該当している場合もありますが、本調査では当初契約も含めて調査対象としております。

上記の工事に関して、右欄に正しい工事内容を記入して下さい。(左欄は、上記調査票より確認した内容を記載しております。)

工事内容		正しい工事内容																					
施工場所		⇒		都道府県名																			
契約年月	この工事の発注者との最初の契約年月を記入してください	⇒	平成			年			月														
実際の工事着工年月 (現場作業開始年月)		⇒	平成			年			月														
実際の完成または 工事完成予定年月		⇒	平成			年			月														
1. 最終工事請負契約金額(消費税相当額を含む) <設計変更等による増減額を含む>		⇒	<table border="1"> <tr> <td>百億</td> <td>十億</td> <td>一億</td> <td>千万</td> <td>百万</td> <td>十万</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※万円未満は四捨五入で記入して下さい。</p>							百億	十億	一億	千万	百万	十万	万円							
百億	十億	一億	千万	百万	十万	万円																	
2. 発注者からの無償支給材評価額(消費税相当額を含む) <支給当時の時価で換算する>		⇒	<table border="1"> <tr> <td>百億</td> <td>十億</td> <td>一億</td> <td>千万</td> <td>百万</td> <td>十万</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※万円未満は四捨五入で記入して下さい。 ※無償支給材料評価額は、発注者から無償で支給された資材について、支給当時の時価で換算した額を記入して下さい。換算は、製品カタログ、建設物価等を参照して下さい。</p>							百億	十億	一億	千万	百万	十万	万円							
百億	十億	一億	千万	百万	十万	万円																	

### ◎【資材関連(3ページ、4ページ)】 記入に当たっての注意点

- 調査票の各内容欄に該当する資材の数量(協力工事業者(下請)が要した物の等も含む)を記入して下さい。該当のない欄には、0(ゼロ)を記入して下さい。
- 対象工事が竣工していない場合でも、完成までの見込み分(予定使用数量)を含めて記入して下さい。
- 請負契約額の欄に、設計変更等による増額分のみが印刷されている場合がありますが、記入いただいた最終工事請負契約金額に相当する、工事全体の資材・労働力需要量を記入して下さい。
- 各資材は必ず指定された単位で記入して下さい。単位の換算が必要な場合は、末尾の材料換算表や、メーカーカタログを参照して下さい。
- 数値については、小数点以下を四捨五入して下さい。
- 発注者から無償で支給された資材がある場合は、貴社で調達した数量と合算した数量を記入して下さい。
- 同一品目で、2種類以上資材を購入した場合は、合算した数量を記入して下さい。
- 使用した資材を、構成成分ごとに分離しないで下さい。  
例)鉄筋コンクリートU型を100tを使用 → 正しい書き方: 道路用等コンクリート製品の使用数量の欄に100と記入。  
誤った書き方: セメント△△、砂利××、...の様に、構成物に分ける。
- 鉄鋼製品には、鑄鉄品、鑄鋼品等は含めないで下さい。
- コード35欄「その他鋼材」は次のような資材を対象としています。  
・配管用鋼管(水道、ガス等の配管用鋼管)  
・その他鋼材(薄板、亜鉛鉄板等で、コード「27」~「33」欄のいずれにも属さないもの。ただし、鉄線、針金、釘、金網、ボルト、ナット、PC鋼線等の線材二次製品や、高欄、メタルラス等の鉄鋼加工製品は対象外です。)

Ⅱ-(1). 主要資材量(セメント、生コンクリート、コンクリート二次製品、骨材等)

対象工事に使用した資材の使用数量を記入して下さい。該当のない資材は0を記入して下さい。

資材	品種	単位	コード	使用数量							内容
				百万	十万	万	千	百	十	一	
セ	メント	t	01								普通ポルトランド、早強ポルトランド、高炉、フライアッシュ、特殊セメント、カラーセメント、白色セメント等。 ただし、生コンクリート、コンクリート2次製品に使用されているものは除く。
生	コンクリート	m <sup>3</sup>	02								各種配合生コンクリート。
コン クリ ート 二 次 製 品	コンクリート管類	t	03								ヒューム管、PC管、鉄筋コンクリート管、無筋コンクリート管、水道用石綿セメント管、ロール転圧鉄筋コンクリート管、ソケット付スパンパイプ、コンクリート製トラフ等。
	コンクリートボール、パイル	t	04								RCボール、PCボール、RCパイル、PCパイル、PHCパイル、特殊パイル等。
	土木コンクリートブロック	t	07								積ブロック、張ブロック、連結ブロック、法枠ブロック。
	インターロッキングブロック	m <sup>2</sup>	10								普通インターロッキングブロック、透水性インターロッキングブロック、植生用インターロッキングブロックで、歩道、コミュニティ道路、駐車場、公園、車道、車両進入道、バス停車帯、工場ヤード、コンテナヤード等に使用されるもの。
	道路用等コンクリート製品	t	12								舗装用コンクリート平板、鉄筋コンクリートU型及び蓋、遠心力鉄筋コンクリートU型及び蓋、コンクリートL型、鉄筋コンクリートL型、遠心力鉄筋コンクリートL型、コンクリート境界ブロック、遠心力鉄筋コンクリート境界ブロック、並木ますブロック、下水道用マンホール、雨水・集水・汚水ます及び蓋、組み合わせ暗きょブロック、その他の各種街きょ用材等。
	その他のコンクリート二次製品	t	13								鉄筋コンクリートフリューム、鉄筋コンクリートベンチフリューム、スラブ橋用プレストレストコンクリート橋げた、けた橋用プレストレストコンクリート橋げた、コンクリート系セグメント、コンクリート枕木、スラブ軌道、消波根固めブロック、テラポット、ボックスカルバート、ケーソンセルラーブロック、各種擁壁ブロック等。
骨 材	砂	m <sup>3</sup>	14								現場練りコンクリート用、モルタル用、盛土用、埋戻し用使用する砂。 ただし、生コンクリート、コンクリート2次製品、アスファルト合材に使用されているもの、品質の劣る山砂、浜砂、シラス等は除く。なお、コンクリート塊若しくはアスファルト・コンクリート塊から製造した再生材は、コード「19」欄の「再生砂」へ記入する。
	砂	利	m <sup>3</sup>								現場練りコンクリート用、盛土用、埋戻し用使用する砂利。 ただし、生コンクリート、コンクリート2次製品、アスファルト合材に使用されているものは除く。なお砂利等を破碎して碎石としたものはコード「16」欄の「碎石」へ記入する。
	砕	石	m <sup>3</sup>								現場練りコンクリート用、盛土用、埋戻し用使用する砕石で、コンクリート砕石、単粒度砕石、クラッシャーラン、粒度調整砕石、(割)ぐり石、切込砕石、スクリーニングス、ダスト、砂利砕石等。ただし、生コンクリート、コンクリート2次製品、アスファルト合材に使用されているものは除く。なお、コンクリート塊若しくはアスファルト・コンクリート塊から製造した再生材は、コード「20」欄の「再生砕石」へ記入する。
再 生 骨 材	再 生 砂	m <sup>3</sup>	19								コンクリート塊若しくはアスファルト・コンクリート塊から製造した砂で、現場練りコンクリート用、モルタル用、盛土用、埋戻し用等に使用する砂。 ただし、生コンクリート、コンクリート2次製品、アスファルト合材に使用されているものは除く。新材は、コード「14」欄の「砂」へ記入する。
	再 生 砕 石	m <sup>3</sup>	20								コンクリート塊若しくはアスファルト・コンクリート塊から製造した砕石で、路盤材等に使用する再生クラッシャーラン、再生粒度調整砕石等。 ただし、生コンクリート、コンクリート2次製品、アスファルト合材に使用されているものは除く。新材は、コード「16」欄の「碎石」へ記入する。
石	材	m <sup>3</sup>	17								角石、板石、間知石、割石、雜割石等。

II-(2). 主要資材量(鉄鋼製品、瀝青材等)

対象工事に使用した資材の使用数量を記入して下さい。該当のない資材は0を記入して下さい。

資材	形態	品種	単位	コード	使用数量							内容
					百万	十万	万	千	百	十	一	
鉄鋼製品 (※1)	普通鋼	H形鋼	t	27								ロールH形鋼、広幅、中幅、細幅等各種圧延H形鋼(溶接によりビルトアップしたH形鋼はコード「31」欄へ記入)。
		その他の形鋼(除くH形鋼)	t	28								H形鋼を除く他の形鋼(冷間成形による軽量形鋼を含む)。
		鋼矢板	t	29								鋼矢板、軽量鋼矢板等で埋設したもの(引き抜き撤去分は仮設材扱いとし、コード「37」欄へ記入)。
		棒鋼	t	30								異形棒鋼、丸鋼、平鋼等。
		厚中板	t	31								厚み3mm以上の鋼板(ビルトアップH形鋼、溶接四面ボックス等を含む)。
		鋼管杭 鋼管矢板	t	32								鋼管杭、鋼管矢板等。
		構造用鋼管 (含むコラム)	t	33								一般構造用円形、角型鋼管等。
		その他の鋼材	t	35								(※2)を参照して下さい。
		仮設材	H形鋼	t	36							
	鋼矢板		t	37								・新規購入、他の工事からの転用、リースの区分を問わず、調査対象工事に投入した数量を記入して下さい。
	その他		t	38								・仮設材で転用したものと及び転用後に全損になったものは含みますが、捨て型枠、埋設等で転用されずに当初から全損となるものは、本設材として各品目欄に記入して下さい。
	特殊鋼	鋼材	t	39								ステンレス鋼、高抗張力鋼、耐候性鋼、低温用鋼等。
	瀝青材	t	41									ストレートアスファルト、フローニアスファルト、コンパウンド等。ただし、アスファルト合材に使用されているものは除く。
アスファルト合材 (再生除く)	t	42									道路用アスファルトコンクリート等。再生物は、コード「43」欄へ記入する。	
再生アスファルト合材	t	43									再生道路用アスファルトコンクリート等。新品物はコード「42」欄へ記入する。	

(※1) 鉄鋼製品には、鋳鉄品、鋳鋼品等は含めないので下さい。

(※2) その他鋼材は以下のような資材を対象としています。これらの使用数量を記入して下さい。

品種	内容
配管用鋼管	水道、ガス等の配管用鋼管
その他鋼材	薄板、亜鉛鉄板等で、コード「27」～「33」欄のいずれにも属さないもの。 ただし、鉄線、針金、釘、金網、ボルト、ナット、PC鋼線等の線材二次製品や、高欄、メタルラス等の鉄鋼加工製品は対象外です。

### Ⅲ. 労働力

#### ◎【労働力関連(5ページ)】 記入に当たっての注意点

1. 各職種の内容欄に該当する従事者の延べ人数(協力工事業者(下請)が要したのも含む)を記入して下さい。  
該当のない欄には、0(ゼロ)を記入して下さい。
2. 事務等社員(管理部門の従事者)、炊事婦、警備員(ガードマン)、工場労働者、資材搬入業者の運転手等は含みません。
3. 延べ人数は、1日8時間を標準とする1人日に換算して記入して下さい。
4. 対象工事が竣工していない場合でも、完成までの見込み分(予定延べ人数)を含めて記入して下さい。
5. 職長(労働者を直接監督し、自ら作業に従事するもの)及び各種見習(一般にいう手元、助手等で技能の修得を目的として、その補助的作業に従事するもの)及び単に各種技能職種の補助的作業に従事するものもそれぞれの職種に含めて下さい。

対象工事に従事した労働者の延べ人数を記入して下さい。該当のない職種は0を記入して下さい。

職 種	コ ー ド	延 べ 人 数							内 容
		百 万	十 万	万	千	百	十	一	
土 木 一 般 世 話 役	50								土木工事及び重機械の運転または操作について相当程度の技術を有し、もっぱら指導的な業務を行うもの(潜函世話役、トンネル世話役、橋梁世話役を除く)。
特 殊 作 業 員	51								相当程度の技能及び高度の肉体的条件を有し、主として次の作業について主体的に業務を行うもの。(a)軽機械の運転、操作、(b)人力による合材の敷き均し及び舗装面の仕上げ、(c)ダム工事における機械設備等を運転、操作して行う骨材の製造、貯蔵または運搬等、(d)その他、相当程度の技能を有し、各種作業について必要とされる主体的業務を行うもの。
普 通 作 業 員	52								主として人力による土砂等の掘削、積み込み、敷均し、資材等の積み込み、運搬、片付け、芝はり等の作業を行うもの。
軽 作 業 員	53								主として人力による軽易な清掃、後片付け、草むしり、散水、現場内の小運搬等の作業や人力による軽易な補助作業を行うもの。
鉄 筋 工	54								鉄筋の加工組立について相当程度の技能を有し、鉄筋コンクリート工事における鉄筋の切断、屈曲、成型、組立、結束等について主体的業務を行うもの。
型 枠 工	55								木工事について相当程度の技能を有し、主として木製型枠(メタルフォームを含む)の製作、組立、取り付け、解体、木坑、木橋等の仕ごしらえ等の作業について主体的業務を行うもの。
大 工	56								大工事について相当程度の技能を有し、家屋等の建築、屋内における造作等の作業について主体的業務を行うもの。
と び 工	57								高所・中空における作業について相当程度の技能及び高度の肉体的条件を有し、杭打ち、足場の組立、解体、重量物の捲上げ、据え付け、鉄骨材の建方、巻き上げ等の作業について主体的業務を行うもの。
左 官	58								左官工事について、相当程度の技能を有し、土、モルタル、プラスター、漆喰、人造石の壁材料を用いて壁塗り、吹き付け等の作業について主体的業務を行うもの。
運 転 手 ( 特 殊 )	59								重機械の運転及び操作について相当程度の技能を有し、主として重機械を運転または操作して行う掘削、排除、運搬等の作業について主体的業務を行うもの。
運 転 手 ( 一 般 )	60								大型免許、普通免許等を有し、主として貨物自動車や機械等を運転または操作して行う作業について主体的業務を行うもの。
そ の 他 の 職 種	61								以上の職種に該当しないもの。(例)造園工、法面工、石工、ブロック工、電気、鉄骨工、塗装工、溶接工、潜函工、削岩工、トンネル作業員、橋梁特殊工、普通船員、潜水士、山林砂防工、軌道工、配管工、はつり工、防水工、板金工、タイル工、ダクト工、設備機械工等

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒にて11月25日(金)までにご投函下さい。

## ※調査票の記入に関するお問い合わせ先

株式会社アダムコミュニケーション 担当:小俣(オバタ)、兵働(ヒョウドウ)  
〒182-0002 東京都調布市仙川町1-15-47  
TEL 03(3305)5500(代表) FAX 03(3307)7210  
E-mail:miltsurvey@aaa.co.jp

## ※調査の趣旨、目的に関するお問い合わせ先及び調査票提出先

国土交通省土地・建設産業局 建設市場整備課 資材係  
〒100-8786 東京都千代田区霞が関2-1-3  
TEL 03(5253)8111(代表) FAX 03(5253)1555

## ※調査票ダウンロード先(国土交通省ホームページ)

電子媒体(エクセル)でのご記入を希望される方は、下記のURLから調査票をダウンロードして電子メールにて提出して下さい。

調査票ダウンロード先(国土交通省ホームページ)

⇒ [http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1\\_6\\_bt\\_000216.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000216.html)

平成23年度建設資材労働力需要実態調査(調査票ダウンロード)をクリックしてください。

※国土交通省ホームページのトップページから入る場合は、

国土交通省トップページ(<http://www.mlit.go.jp/>)

>> 土地・建設産業(画面上側「国土交通省の政策クイックリンク」の項目)

>> 建設産業・不動産関係(画面右側「基本情報」の項目)

>> 労働・資材対策(画面左側2段目の「建設市場整備」の項目)

>> 平成23年度建設資材労働力需要実態調査(調査票ダウンロード)

■ 調査票(電子媒体)の提出先: [miltsurvey@aaa.co.jp](mailto:miltsurvey@aaa.co.jp)



# 材料換算表(参考) ①

## 【コード03 コンクリート管類】

トラフ (直線用)

型式	長さ (mm)	×	幅 (mm)	×	高さ (mm)	質量 (kg/組)
70	1,000	×	70	×	75	26
70	500		70		75	13
120	"		120		75	21
150 A	"		150		90	29
150 B	"		150		120	30
200 A	"		200		90	38
200 B	"		200		170	44
200 C	"		200		250	52
250	"		250		170	56
300	"		300		170	64
300 C	"		300		250	78
330	"		330		210	84
400	"		400		215	95
430	"		430		170	96
430 C	"		430		250	105

PC管

内圧管 S形			
呼び径 (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
500	×	4,000	1,230
600		"	1,540
700		"	1,880
800		"	2,340
900		"	2,900
1,000		"	3,480
1,100		"	4,090
1,200		"	4,800
1,350		"	5,840
1,500		"	7,080
1,650		"	8,370
1,800		"	9,800
2,000		"	11,960
2,100	×	3,600	10,990
2,200		"	11,470
2,300		"	11,950
2,400		"	12,430

ヒューム管 外圧管

品種: B形					
呼び径 (mm)	×	厚さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
150	×	26	×	2,000	77
200		27		"	108
250		28		"	131
300		30		"	165
350		32		"	204
400		35		2,430	306
450		38		"	373
500		42		"	459
600		50		"	660
700		58		"	899
800		66		"	1,170
900		75		"	1,520
1,000		82		"	1,850
1,100		88		"	2,190
1,200		95		"	2,600
1,350		103		"	3,190

外圧管 C形			
呼び径 (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
900	×	2,360	1,810
1,000		"	2,150
1,100		"	2,480
1,200		"	2,870
1,350		"	3,430
1,500		"	4,060
1,650		"	4,720
1,800		"	5,370
2,000		"	6,690
2,200		"	8,000
2,400		"	9,430
2,600		"	10,970
2,800		"	12,670
3,000		"	14,370

品種: C形					
呼び径 (mm)	×	厚さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
1,500	×	112	×	2,360	3,270
1,650		120		"	3,850
1,800		127		"	4,430
2,000		145		"	5,640
2,200		160		"	6,840
2,400		175		"	8,170
2,600		190		"	9,610
2,800		205		"	11,200
3,000		220		"	12,800

※ 他の資材で換算が必要な場合は、「製品カタログ」「価格表」「建設物価」等を参考にして下さい。

## 材料換算表(参考) ②

### 【コード04 コンクリートポール・パイプ】

PHCパイプA種・B種

外径 (mm)	×	厚さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
300	×	60	×	7	820
"		"		8	940
"		"		9	1,060
"		"		10	1,180
"		"		11	1,290
"		"		12	1,410
"		"		13	1,530
350	×	60	×	7	990
"		"		8	1,140
"		"		9	1,280
"		"		10	1,420
"		"		11	1,560
"		"		12	1,700
"		"		13	1,850
"		"		14	1,990
"		"		15	2,130
400	×	65	×	7	1,240
"		"		8	1,420
"		"		9	1,600
"		"		10	1,780
"		"		11	1,950
"		"		12	2,130
"		"		13	2,310
"		"		14	2,490
"		"		15	2,670
450	×	70	×	7	1,520
"		"		8	1,740
"		"		9	1,950
"		"		10	2,170
"		"		11	2,390
"		"		12	2,610
"		"		13	2,830
"		"		14	3,040
"		"		15	3,260
500	×	80	×	7	1,920
"		"		8	2,190
"		"		9	2,470
"		"		10	2,740
"		"		11	3,020
"		"		12	3,290
"		"		13	3,570
"		"		14	3,840
"		"		15	4,110
600	×	90	×	7	2,620
"		"		8	3,000
"		"		9	3,370
"		"		10	3,750
"		"		11	4,120
"		"		12	4,500
"		"		13	4,870
"		"		14	5,250
"		"		15	5,620

コンクリートポール

(電力会社配電線路 NTT共架用)				
長さ (m)	×	末口径 (cm)	設計荷重 (kN)	参考質量 (kg)
6	×	12	1.2	195
10	×	19	3.5	670
11		"	"	760
12		"	"	860
12		"	5.0	950
13		"	"	1,050
14		"	"	1,160
15		"	"	1,280
16		"	"	1,400
13		"	7.0	1,250
14		"	"	1,350
15		"	"	1,490
16		"	"	1,630
17		"	"	1,780
14		"	10.0	1,590
16		"	"	1,750
16		"	"	1,980
14	×	22	"	1,550
15		"	"	1,700
16		"	"	1,860
17		"	"	2,010
14		"	15.0	1,950
15		"	"	2,140
16		"	"	2,360
17		"	"	2,570

(引き込み用小柱)

長さ (m)	×	末口径 (cm)	設計荷重 (kN)	参考質量 (kg)
6.9	×	10	0.8	180

### 【コード07 土木コンクリートブロック】

コンクリート積みブロック

高さ (mm)	×	幅 (mm)	×	控長 (mm)	参考質量 (kg)	使用量 (個/m <sup>3</sup> )
250	×	400	×	350	35.0	10.0
250		500		"	43.8	8.0
280		420		"	41.2	8.5
300		360		"	37.7	9.3
"		450		"	47.3	7.4
"		300		"	31.6	11.1
350		350		"	42.9	8.2

※ 他の資材で換算が必要な場合は、「製品カタログ」「価格表」「建設物価」等を参考にして下さい。

# 材料換算表(参考) ③

## 【コード12 道路用等コンクリート製品】 道路用等コンクリート製品

品名:舗装用平板(JIS A 5371附2)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
300	300	×	300	×	60	13
330	330	×	330	×	60	15

品名:鉄筋コンクリートU形(JIS A 5372附3)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
150	150	×	150	×	600	25
180	180	×	180	×	"	34
240	240	×	240	×	"	55
300 A	300	×	240	×	"	70
300 B	300	×	300	×	"	79
300 C	300	×	360	×	"	92
360 A	360	×	300	×	"	91
360 B	360	×	360	×	"	101
450	450	×	450	×	"	136
600	600	×	600	×	"	212

品名:1種普通蓋(JIS A 5372附3)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
150	210	×	35	×	600	10
180	250	×	40	×	"	14
240	330	×	45	×	"	21
300	400	×	60	×	"	33
360	460	×	65	×	"	41
450	560	×	70	×	"	55
600	740	×	75	×	"	78

品名:2種普通蓋(JIS A 5372附3)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
150	210	×	90	×	600	26
180	250	×	90	×	"	31
240	330	×	100	×	"	45
300	400	×	100	×	"	55
360	460	×	100	×	"	64
450	560	×	120	×	"	93
600	740	×	150	×	"	156

品名:鉄筋コンクリートL形(JIS A 5372附5)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
250 A	350	×	155	×	600	47
250 B	450	×	"	×	"	58
300	500	×	"	×	"	65
350	550	×	"	×	"	72

品名:歩車道境界(JIS A 5371附4)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
A	150/170	×	200	×	600	45
B	180/205	×	250	×	"	68
C	180/210	×	300	×	"	83

品名:地先境界(JIS A 5371附4)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
A	120	×	120	×	600	21
B	150	×	120	×	"	26
C	150	×	150	×	"	32

## 【コード13 その他のコンクリート二次製品】

PC橋桁			
スラブ橋桁(A活荷重) JIS A 5373附2			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
AS-05	350	5.3	2.9
AS-06	350	6.3	3.5
AS-07	400	7.3	4.6
AS-08	400	8.4	5.3
AS-09	450	9.4	6.7
AS-10	450	10.5	7.5
AS-11	450	11.5	8.2
AS-12	450	12.5	7.4
AS-13	500	13.5	8.5
AS-14	500	14.5	9.1
AS-15	550	15.6	10.4
AS-16	600	16.6	11.7
AS-17	650	17.6	13.0
AS-18	700	18.6	14.3
AS-19	750	19.6	16.2
AS-20	750	20.7	17.0
AS-21	800	21.7	18.6
AS-22	850	22.7	21.0
AS-23	900	23.7	23.0
AS-24	950	24.7	24.8

桁橋桁(A活荷重) JIS A 5373附2			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
AG-18	900	18.6	16.5
AG-19	1,000	19.6	18.9
AG-20	1,000	20.7	20.0
AG-21	1,100	21.7	22.5
AG-22	1,100	22.7	23.6
AG-23	1,200	23.7	26.4
AG-24	1,200	24.7	27.5

桁橋桁(B活荷重) JIS A 5373附2			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
BG-18	1,000	18.6	17.9
BG-19	1,000	19.6	18.9
BG-20	1,100	20.7	21.5
BG-21	1,100	21.7	22.5
BG-22	1,200	22.7	25.3
BG-23	1,200	23.7	26.4
BG-24	1,300	24.7	29.4

スラブ橋桁(B活荷重) JIS A 5373附2			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
BS-05	350	5.3	2.9
BS-06	350	6.3	3.5
BS-07	400	7.3	4.6
BS-08	400	8.4	5.3
BS-09	450	9.4	6.7
BS-10	450	10.5	7.5
BS-11	500	11.5	9.1
BS-12	500	12.5	7.9
BS-13	500	13.5	8.5
BS-14	550	14.5	9.7
BS-15	600	15.6	11.0
BS-16	600	16.6	11.7
BS-17	650	17.6	13.0
BS-18	700	18.6	14.3
BS-19	750	19.6	16.2
BS-20	800	20.7	17.8
BS-21	850	21.7	19.4
BS-22	900	22.7	21.9
BS-23	950	23.7	23.9
BS-24	1,000	24.7	25.7

軽荷重橋(98.1kN) JIS A 5373附3			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
LS-05	225	5.3	2.0
LS-06	225	6.3	2.4
LS-07	225	7.3	2.7
LS-08	250	8.4	3.5
LS-09	275	9.4	4.3
LS-10	300	10.5	5.2
LS-11	350	11.5	6.6
LS-12	375	12.5	7.6
LS-13	400	13.5	8.8

※ 他の資材で換算が必要な場合は、「製品カタログ」「価格表」「建設物価」等を参考にして下さい。